

文化庁委託事業

「令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

江戸糸あやつり人形結城座

人形と俳優のクロスオーバー I

応募要項

主催：文化庁、公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座

企画・制作：公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座

東京都小金井市貫井北町 3-18-2

Tel: 042-322-9750 Fax: 042-322-3976 <http://www.youkiza.jp/>

担当:結城座制作部 小立廉 (seisaku@youkiza.jp)

稲倉梢恵

開講にあたって・・・・・・・・・・2

募集概要・・・・・・・・・・3

授業概要・・・・・・・・・・5

応募案内・・・・・・・・・・7

プロフィール・・・・・・・・・・8

◎開講にあたって

これまで結城座は、江戸糸あやつり人形の普及・啓発のために 18 歳から 90 歳までの幅広い方を対象に「江戸糸あやつり人形入門塾」を開講し、長年にわたって実績を残してきました。

この度の講座「人形と俳優のクロスオーバー」は、従来の「入門塾」とは全く異なるアプローチの試みです。その最大の違いは「プロ志向」であり、人形遣いに限らず、役者やダンサーなど、表現の世界でプロとして活躍したいという意志を持った方を対象とした野心的なプロジェクトです。

結城孫三郎の志に賛同し、演出家・加藤直、能楽師・清水寛二、ダンサー／振付家・山田うんといった各界一流の表現者の方々が外部講師として参加いただく運びとなりました。また、最終回に予定されている試演会の演出も、3名の講師の方々が各自担当されます。

本講座では、受講生の皆様は約 3 ヶ月間各分野の基礎訓練を積んでいただきます。その後 3 グループに分かれて、それぞれの講師のもとで試演会に向けた稽古に入ります（加藤直先生は人形遣いのグループに加わります）。

講師それぞれが同じ作品の演出を担当するため、試演会ではひとつの作品を三通りの演出によって発表することになります。俳優が人形遣いの指導を受けたり、ダンサーが能楽師の指導を受けるなど、異次元の表現者の往来交差は、講師・受講者含めて全くの自由です。人形遣い・俳優・ダンサーの相互の交流によって、そこに交差点が生まれ、身体の多様性に目を向けるきっかけとなり、新たな表現を模索できるのではないのでしょうか。舞台上のコラボレーションだけでなく、学びの場で生起するクロスオーバーや流動性も本講座の特長の一つです。

結城座は 1635 年の創立以来、紆余曲折を経て 385 年の伝統をつないできました。現在まで、常に新しい表現法に果敢に挑戦し続け活性化させたことが、今日までの伝統と歴史の証と言っても過言ではありません。たとえば、人形遣い自らが台詞を言うという現在の表現法は、明治に入ってから九代目結城孫三郎が「歌舞伎改良糸あやつり」として編み出したものです。新たな表現を追求する試みは、十、十一、十二代目と確実に今日まで受け継がれてきました。

このプロジェクトは、伝統を次世代へ継ぐ江戸糸あやつり人形の新しい表現法を発見する場であるとともに、舞台芸術における新たな表現者の誕生・育成の支援にも力を注ぎます。

本気でプロを目指す方、既にプロとして活動されていて、新たな表現の可能性を模索しているアーティストの方、俳優の卵やダンスなどあらゆる分野でのプロ志向の皆様方の参加を心から歓迎いたします。

◎募集概要

開講期間

2020年9月12日(土)～2021年2月21日(日)

最終回には稽古場にて試演会を予定しています。

9月から11月を各分野の基礎訓練期間とし、12月以降、試演会に向けた稽古に入ります。

開講日時

土曜日～月曜日、祝日を中心に月4回程度、右表の時間割で授業を組んでいます(全てのコマに授業が入るとは限りません)。ただし、講師の先生方のスケジュールに合わせて授業日を設定していますので、上記以外の曜日にも授業が入ることをご了承ください。また、試演会前(2021年1月～2月)には授業日数が増加します。

選考を通過された方に授業日程表をお渡しします。

1時間目	10:00～12:00
2時間目	12:30～14:30
3時間目	14:30～16:30
4時間目	16:30～18:30

授業時間内に休憩を含みます。

場所

江戸糸あやつり人形結城座稽古場

(東京都小金井市貫井北町3-18-2)

◆JR中央線 武蔵小金井駅北口徒歩20分

または

6番バス乗り場より京王バス「中大附属循環」約10分

「中大附属高校」下車徒歩1分

◆西武新宿線/拝島線 小平駅南口より

銀河鉄道バス 小平国分寺線

「国分寺駅入口」行

「中央大学附属中学・高等学校」下車徒歩1分



応募条件

18 歳以上で、プロを目指し江戸糸あやつり人形や演劇に興味を持ち、将来舞台芸術の世界を志す者。

※既にプロとして実績を積んでいる方の応募も歓迎します。

選考方法

書類選考による。

受講料

一般：100,000 円

U30（30 歳以下）：70,000 円

※上記以外の費用（入会金、教材費等）はかかりません。

※受講料は開講日までに一括で納付していただきます。

※途中退会した場合でも受講料の返金には応じかねます。

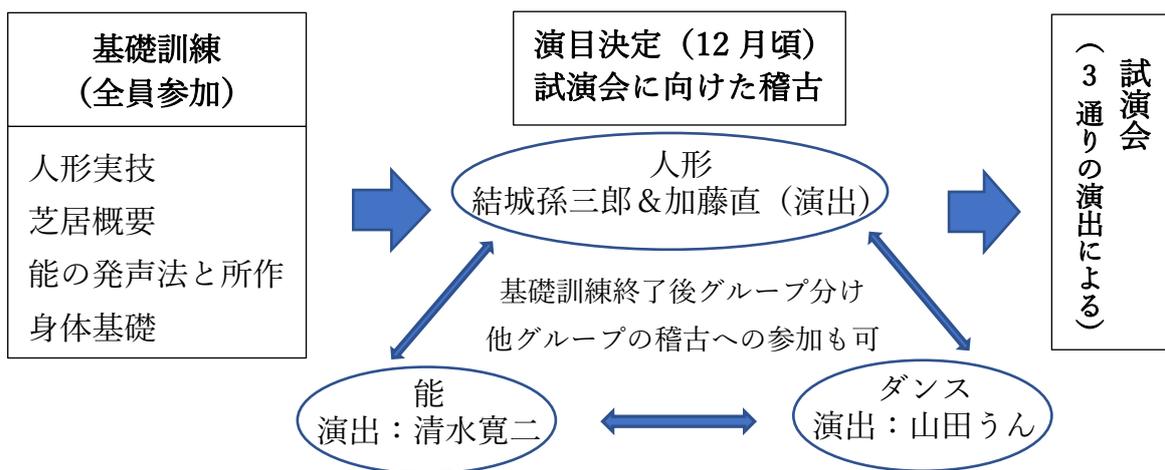
◎授業概要

伝統を次世代へ継ぐ江戸糸あやつり人形の新しい表現法を発見する場であるとともに
舞台芸術における新たな表現者の誕生・育成の支援にも注力する本プロジェクトでは
人形実技を含め4講座を開講します。

授業の流れ

受講生は9月～11月の約3か月間、各分野の基礎訓練を受けます。その後、結城孫三郎&加藤直、清水寛二、山田うんの3グループに分かれ、各講師のもとで試演会に向けた稽古に入ります。試演会ではひとつの作品を3通りの演出によって発表することになるため、同じ作品の演出による違いを吟味できる他、他グループの稽古に参加しやすいという利点があります。

グループ分けについては、受講生のバックグラウンドに関係なく割り振られます。たとえば、ダンサー志望者が必ずしも山田先生のグループに入るわけではありません。



授業内容

講座名	講師	コマ数*
人形実技	結城孫三郎 他 結城座人形遣い	66 コマ

外部特別講師による授業

芝居概要	加藤直	22 コマ
能の発声法と所作	清水寛二	22 コマ
身体基礎	山田うん	22 コマ

※授業コマ数には試演会準備および試演会本番を含みます。

基礎訓練授業内容 ～もの・物・者～

●人形実技 講師・・・結城孫三郎 他・結城座人形遣い

江戸糸あやつり人形の手板（操作板）を正しく持ち、しっかり人形を立たせることから始め、基礎的な動作を初歩から学ぶ。まず足踏みでは、手板を水平に持ち人形を常に適切な高さに保つようにする。次に、足踏みで前進させる（歩く）。主体である人形と、遣い手である人形遣いの距離や速度のバランスをとり、人形と人形遣いの関係性を、常に自分の人形を確認しながら身に付けていく。基本稽古を繰り返しつつ、ジャンプする、座る、立ち上がるなど様々な動作を学ぶ。さらに、様々な場面を設定して遣う稽古を進め、人形で芝居をするということを少しずつ意識していく。

●芝居概要 講師・・・加藤直

演劇、とりわけ演技とは何か？ を中心に考えながら、自分の声と身体を使って小さな物語を他人・他者に語る。自分（私）と他者が一緒になって、それぞれの声と身体を共に使いながら、さらなる他者たち（観客）に語りとうとする――。

●能の発声と所作 講師・・・清水寛二

「二曲三体」という、能の演技を二曲＝舞と謡、三曲＝老体・女体・男体に集約する考え方を理解する。実際には、能の身体の演技基本として、①構え・運び―立つ、座る、歩く ②型―基礎的な型とその応用 ③謡―発生と呼吸、作曲法 ④物の扱い―能面・装束・持ち物・装置 ⑤能の戯曲・台本の読み込み方 ⑥地謡と役の在り様などを、『楊貴妃』『藤戸』『野守』を候補曲としてやってみてつかんでほしいと思っています。

●身体基礎 講師・・・山田うん

コンテンポラリーダンスは個々に全く違った自由な表現を追求することができますが、自由になるためには立つ、歩く、そして舞踊的な動き、重心、重力、身体と空間についてについて最低限知ることが必須です。運動神経や柔軟性ではなく、例えば足の指、手の指がどの部位と、空間のどこと、どう具体的に繋がっているかという意識を学ぶことが大切です。そしてまた本能的に即興的に動きを生み出していく、という体験も学びます。

◎応募案内

応募方法

本講座の特設ページ (<https://youkiza.jp/archives/5614>) で出願書・志望動機（必要な方は保護者の同意書も）をダウンロードし、郵送またはメールにて提出してください。メールの件名は「人形と俳優のクロスオーバー」出願書類」としてください。メールが届きましたら出願確認の返信をいたします。

郵送の場合、封筒に「出願書類在中」と朱書してください。

【送付先】

Mail: info@youkiza.jp

〒184-0015 東京都小金井市貫井北町 3-18-2

公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座

提出書類

- ・ 出願書（所定書式）
- ・ 志望動機（所定書式）
- ・ 保護者の同意書（未成年の方のみ）
- ・ 身分証の写し（運転免許証、パスポート、学生証、住民票のいずれか。メール提出の方はスキャンデータを添付してください）

応募受付期限

8月31日（月）必着

選考結果通知

メールにて順次通知します。メール以外をご希望の方は出願書類にお書き添えください。

説明会

以下の日程にて説明会（両日とも同内容）を開催いたします。

説明会参加は応募の必須条件ではありません。

日時：8月22日（土）18:00～

8月23日（日）14:00～

場所：結城座稽古場

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、説明会は中止といたします。説明会に代えて、写真や動画で授業のイメージをつかんでもらうためのページを結城座 Web 内にて公開いたします。

お問い合わせ

ご不明な点は結城座までお問い合わせください。

TEL: 042-322-9750（平日 10:00～18:00）

MAIL: info@youkiza.jp

◎人形遣い講師プロフィール

十二代目 結城孫三郎（結城座座長・江戸系あやつり人形遣い・江戸写し絵師）

江戸系あやつり人形結城座十代目結城孫三郎の次男として生まれ、4歳で初舞台。11歳から武智鉄二主宰、武智歌舞伎座に入門。能は観世栄夫、狂言は茂山千之丞の教えを受けながら、人形遣いの修行を重ね、72年写し絵家元三代目両川船遊を襲名。93年十二代目結城孫三郎を襲名。伝統的な人形芝居とともに、国内外の演劇人たちとの芝居作りにも意欲的に取り組み、海外の演劇フェスティバルにも多数参加。また後継者の育成にも力を注ぎ、江戸系あやつり人形の普及・啓発に努める。



◎結城座プロフィール

江戸時代の寛永12年(1635年)に初代結城孫三郎が旗揚げ以来、現在の十二代目結城孫三郎まで385年の歴史を持ち、国の記録選択無形民俗文化財および東京都の無形文化財にも指定されている日本唯一の伝統ある系あやつり人形劇団。

「伝統と革新、古典と新作の両輪」を活動指針に掲げ、近年では、特に海外公演や、現代演劇とのコラボレーションによる国際共同制作にも積極的に取り組んでおり、江戸系あやつり人形の技芸、表現力を追求し、その成果の普及に努めている。新作においては、役者と人形の共演、人形遣いが人形を遣う一方、生身で役者を演じたり、劇中に古典の手法や写し絵等を挿入するなど、独特の舞台空間を創造し続けている。2016年に日越国際協働制作として「野鴨中毒」(作・イッセイ、構成・脚本・演出・坂手洋二)を上演。また、平成16年より人形遣い育成事業を様々なかたちで展開。



浅草移転後の結城座の所在を示す地図



江戸時代の公演のチラシ

◎外部講師プロフィール

加藤直（演出家・劇作家）

劇作家・演出家。横浜生まれ。

1966年劇団俳優座付属養成所卒業。70年黒テントの創立に参加。80年代中頃からオペラ、演劇、ミュージカル、コンサート、合唱等の作・演出を開始。

ロングランのエンターテインメント作品を手掛ける一方、東京室内歌劇場、二期会、日生劇場、オペラシアターこんにゃく座等で多くのオペラも演出。

表現の在り方を鋭く検証し、知的かつスラプスティックに仕立てていく作品づくりに定評がある。まつもと演劇工場・工場長。



清水寛二（能役者）



能役者。1953年奈良県生まれ。早稲田大学在学中に山本順之の指導を受け、鍬仙会に入門。故観世寿夫、故八世観世鍬之丞、九世観世鍬之丞に師事し、鍬仙会公演などで古典能の上演を続ける一方、新作能『長崎の聖母』『沖縄残月記』『ヤコブの井戸』などの演出・シテをつとめる。組踊、昆劇などの他の伝統芸能や現代劇、現代音楽、ダンスなどとの共同舞台にも取り組んでいる。

山田うん（ダンサー・振付家）

器械体操、バレエ、舞踏を学び渡仏。2002年「Co.山田うん」設立。日本をリードするコンテンポラリーダンスのカンパニーを率いて国内外で活躍している他、ミュージカルやオペラの振付、演劇の演出、またソロダンサー、指導者としても世界各地から注目されている。第8回日本ダンスフォーラム大賞受賞。第65回芸術選奨文部科学大臣新人賞。平成26年度文化庁文化交流使。令和2年第37回江口隆哉賞受賞。

